

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 P T A
学校名	静岡県立沼津聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設置部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	45名

1. 使用状況

寄贈物品名	山型雲梯
使用学年及び人数	幼稚部 17名、小学部 6名
使用頻度	学期期間中ほぼ毎日
使用状況	本校中庭に設置しており、幼稚部児童、小学部児童が休み時間に遊んだり、運動遊びや体育の時間に握力や全身筋力、バランス感覚養成等の体力づくりを目的に使用しております。
物品の使用による変化や効果	身体を使って力強く進む小学生の姿を見て、幼児も挑戦しようとする姿が多く見られるようになりました。年少の子供たちは雲梯にぶら下がるのが精一杯でしたが、年中や年長になると、徐々に棒をしっかりと握り、体を揺らしながら前に進むことをつかみ楽しめるようになってきました。休み時間だけでなく、運動遊びの学習の中にも取り入れ体力づくりにもとても役立っています。 小学部児童は、新しくなった雲梯について友達同士で会話を楽しんだり、声を掛け合って遊んだりする様子が見られます。互いにできる技を見せ合うことで、もっとできるようになりたいと意欲的に取り組んでいます。
今後の活用の見通しや課題	従前の雲梯は公園施設製品安全管理士による遊具点検において安全基準を満たしていない点があると指摘されていたため、使用制限をしておりました。現在は安全基準を満たした雲梯の設置により、児童が活発に活動しております。引き続き、幼児から児童の遊びや運動の時間に活用していきます。
その他 希望や所感など	今後も大切に使用させていただきたいと思います。御支援いただきましてありがとうございました。

2. 活用の様子

幼稚部 幼児、 小学部 児童 遊びの様子

